

よい動きのイメージの共有化

～動きのお手本動画の活用～

取組の 難易度	(準備) ★ ★ ☆		
	(教員の I C T 活用能力) ★ ☆ ☆		
校種・学年	小学校・全学年		教科等 体育
ICT を活用した 学習場面	A1 教員による教材の提示 B1 個に応じる学習	領域・ 分野等	全領域
ICT 機器等の 準備等	準備	共有できる P C (タブレット端末) に動画を撮影して見られるようにしておく。分かりやすいテロップなどを入れて編集作業をしておく。	
	授業	①共有できる P C (タブレット端末) 各活動場所に置く必要な台数 ②提示用大型モニター	

1 事例の概要

体育の授業において、正しい動きのお手本動画を事前にタブレット端末等で撮影しておき、運動を行う前に動画を確認することによって、動きや技のイメージを共有化する。ねらいの確認の際に全体でよい動きを確認したり、各活動場所において運動の行い方を確認したりして活用する。

※利点○、配慮事項●

2 ICT 活用の利点や配慮事項

- 言葉や絵図で説明するよりも動画の方が分かりやすく、イメージを共有化しやすい。
- 何度も繰り返し見たり、押さえない場面で止めたり、大きくしたりすることができる。
- 運動を行う前に動画を確認することによって、よいイメージをもって行うことができる。
- 動画を見せるだけではなく、気を付けるポイントなどを動画にテロップを入れたり、全体に指導したりすることで動きや技の質を向上させる必要がある。
- 動画ばかりに夢中にならずに、友達の動きもしっかり見るように指導する必要がある。

3 資料

(1) 各場においてタブレット端末を置き、運動の行い方を確認することで「知識及び技能」の育成につながる。

○動画は連続再生にしておくことで、操作が不要で低学年でも活用しやすい

○動画に運動のポイント等を入れておくことで、各活動場所で気を付けることを意識して行うことができる

(2) 友達のよい動きを見付ける活動を通して、「思考力、判断力、表現力等」の育成につながる。

○友達の動きとお手本動画と比べながら見ることで、児童同士の関わり合いが活性化する

そうか、わかった。ああやってやればいいんだな。次は、〇〇に気を付けてやってみよう。

